

つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム 設立趣旨

1 つくば市の現状と課題

研究学園都市として最先端の研究機関が集積するつくば市には、約 150 の研究機関に最先端の研究・事業シーズがあり、それらの豊富なシーズをベースに創出されたスタートアップを支援する動きが産学官金のセクターで活発になっている。

このように、つくば市において、スタートアップを支援する機運が高まり、交流拠点や新たなオフィスの整備、起業家養成のための支援策等が提供されつつあるものの、スタートアップ・エコシステムの形成には、各組織間のさらなる連携強化や地域外のスタートアップ関係者とのネットワーク構築が重要となる。

また、つくば市のスタートアップにとって、地域における経営人材やベンチャーキャピタル、投資家等の不足により、人材確保や資金調達等が共通の課題となっている状況である。

2 コンソーシアム設立の目的

上記の課題の解決を図り、つくば市が強みを持つディープテック・スタートアップを中心にスタートアップが集積し、成長する世界的拠点都市を実現することを目的に、つくば市、茨城県、大学・研究機関等が協力してスタートアップ・エコシステムの基盤を強化するための取組を行う「つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」（以下「コンソーシアム」という。）を設立する。

コンソーシアムでは、ディープテック・スタートアップの世界的拠点を目指し、つくば市のスタートアップ・エコシステムの機能の高度化を図ることにより、スタートアップの創出や成長及びつくば市ひいては茨城県の経済の持続的な発展を実現するとともに、イノベーションを社会実装して地域に還元する活動を行う。

また、他都市のスタートアップ・エコシステム拠点と連携し、つくば市のスタートアップ・エコシステムの強化を図るとともに、広域連携のスケールメリットをいかしたスタートアップ推進を目指す。

3 コンソーシアムの取組内容

コンソーシアムの目的の達成のため、次に掲げる取組を行う。

- (1) つくば市におけるスタートアップ・エコシステムの形成促進に関すること
- (2) 産学官金の連携によるスタートアップの創出支援及び成長促進に関すること
- (3) スタートアップへの実証フィールドの提供及び社会実装の推進に関すること
- (4) 市外からの人材・資金・企業等の獲得に関すること
- (5) スタートアップ・エコシステム拠点都市間の連携に関すること
- (6) その他コンソーシアムの目的を達成するために必要な取組